

令和4年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
2	1	10	会計管理費	164

部局名	出納室
課名	会計課

I : 事業概要

施策事業名	会計管理
事業目的	地方自治法、犬山市予算決算会計規則および犬山市公金取扱金融機関に関する規則などの法令に基づいて、適正かつ効率的に公金の処理などを行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・法令に基づいて、適正かつ効率的に公金の処理などを行う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・現金の入出金および保管 ・各課が作成した収入および支出に関する調書の審査 ・決算書および附属資料の調製 ・基金などの運用 ・愛知県収入証紙の販売 ・有価証券の保管など ●主な決算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・総合収納システム業務委託料 14,407,537円 (市税などの収納金を公金化するためのシステム運用に係る委託料) ・指定金融機関派出手数料 5,720,000円 (公金の収納および支出事務を取り扱わせるために指定した金融機関が、市役所内に設置する派出所業務に係る費用) ・総合収納システム改修業務委託料 1,885,400円 (令和5年度から電子納付できる税目の追加に伴うシステム改修委託料) ・口座振替データ伝送方式移行業務委託料 1,552,100円 (市税などの口座振替データを伝送する方法の変更による移行業務委託料) ・決算書および附属資料などの印刷製本費 756,382円
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治法、犬山市予算決算会計規則及び犬山市公金取扱金融機関に関する規則に基づき、収入及び支出の適正な審査を行った。 ・基金などを基準等に基づき適切に運用したことで、利子収入益を得ることができた。

II : 個別事業内訳

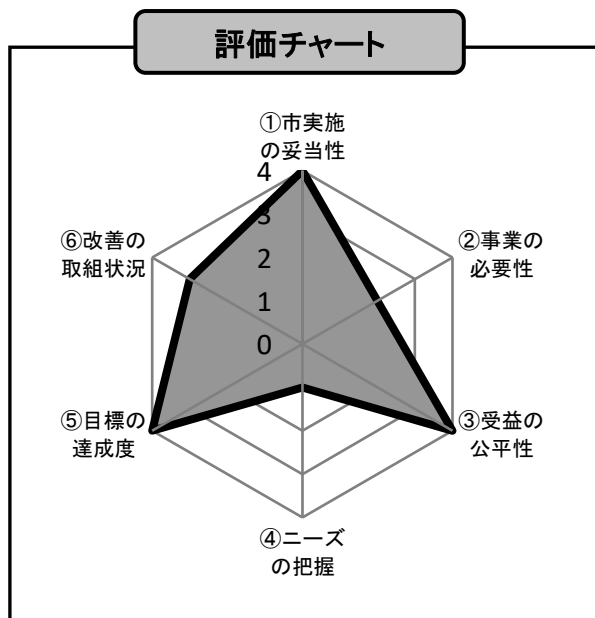
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
会計管理	25,384	0	25,384	100%	4	2	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	25,384	0	25,384	100%	4	2	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R3決算	R4決算	R5予算
		22,243	25,384	28,195
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	22,243	25,384	28,195
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	地方自治法、犬山市予算決算会計規則及び犬山市公金取扱金融機関に関する規則に基づき、公金の厳正、適正かつ効率的な処理を行わなければならない。
②事業の必要性	2	内部管理事務である。ただし、市全体の予算執行を行う上で非常時においても必要不可欠な事業である。
③受益の公平性	4	市全体の予算執行に係るものであり、多くの市民や業者が対象となる事業である。
④ニーズの把握	1	利用者(債権者及び納入者)は、市内外の個人や法人であり、市民ニーズとしては、特に把握していない。
⑤目標の達成度	4	収入及び支出の適正な審査を行えた。決算書の調製を行い、議案として提出することができた。資金の安全かつ確実な運用を行うことができた。
⑥改善の取組状況	3	行政手続きの見直しに伴い、請求書の提出方法にインターネットを通じた提出も可能とする運用としたことにより、市民の利便性を図ることができた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和4年度に見直しを実施した事項	財務会計システム更新に伴い、旅費事務の運用方法の検討を行い、令和5年度から新しい運用で実施することができるように説明会を行い職員に周知した。
令和5年度に見直しを実施している事項	光熱水費等で非常に多くの納付書払いを行っており、これらの支払方法の見直しをすることで、支払事務の効率化、支払料金の削減を図る。
今後見直しを検討する事項	各種公金処理に係る手数料が値上げ又は有料化となるため、支払事務の効率化、合理化の取り組みを行っていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和4年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務処理の効率化を図るため、引き続き事務の見直しや検討を行っていく必要がある。 ・資金運用は引き続き基準等に基づき運用していくが、運用益を上げていくための工夫が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・厳正かつ適正な出納事務を行うため、引き続き会計処理に係る総点検、総見直しを進めていく。 ・資金運用は安全かつ短期間の運用ができる金融商品を新たに加えることを検討し、効率的に運用し利子収入が増となるように進めていく。